

中村繁 プロフィール（1934年4月24日～2010年6月23日。）

昭和9年（1934年）、東京に生まれる。1959年東京大学文学部英文科卒業。1987年獨協大学教授。2005年同名誉教授。

私設の研究機関「昭和史研究所」と市民団体「NHK 報道を考へる会」の代表を務める。1994年7月号より月刊誌『正論』（産経新聞）に「NHK ウオッチング」を連載、NHKの偏向報道批判運動を推進。1995年、『東京裁判却下未提出弁護側資料』（東京裁判資料刊行会編、全8巻）を共同編集し刊行。第43回菊池寛賞を受賞。

著書

『大東亜戦争への道』（展転社）（代表作で、これまでに22刷りを重ねている。）

『日本弁護論 (In Defense of Japan's Case) I, II [東京裁判パール判決書原文抜粋]（研究社出版）

『大東亜戦争はなぜ起こったのか』（日本政策研究センター） 他多数。

編著

『Dissentient judgment of Justice Pal パール判決書 東京裁判・原典・英文版』（ラダ・ビノード・パール 監修・校訂、序文（英文）を執筆 国書刊行会）

共著

『新和英中辞典』第4巻（研究社）編集。執筆

『若き日の大東亜戦争』（展転社）

『日本は侵略国家ではない』（善本社）

『大東亜戦争の総括』（展転社） 他多数。